

開催主旨

アルミダイカスト製品の多くは、自動車やオートバイ、船外機や建設機械などのエンジンやミッション部品として使用され、その他の一般機械機器、電化製品や家具にいたる様々な商品にも使用されています。アルミダイカストは複雑な形状であっても一定の精度のもと、高い生産性で大量に生産できる工法であり、各種鋳造工法の中で需要拡大が予想される工法であります。

しかし、アルミダイカストの生産技術理論は確立されておらず、実際の現場では不具合の増減や様々なトラブルに悩まされ続けているのが実情であり、その中で現場の技術員や製造員は、既存の理論、過去のデータや経験をもとに、新製品の立ち上げや不具合抑制にたいして日々試行錯誤、暗中模索しているのが現実です。さらに中小の現場においては、これらの課題に限られたマンパワーや設備、資金の中で対応していかなければいけないという難題に頭を悩ませています。

このような状態を改善するには、ダイカストの基礎、パラメータやその影響、方案設計や条件設定の手法、手順などを改めて整理、再検討し、これまでと異なった発想、思考を加えることで、新製品立ち上げでのつまづきを抑制し、効果が出ずモグラたたきのように繰り返す不具合対策を解決し、現場をコントロールすることが必要です。

本セミナーは、ダイカストの現場から経営者、さらにはコンサルタントに至るまで多彩な経験を持つ講師が実体験を交えながら、アルミダイカストの基礎から応用、仮説と検証を繰り返す思考、これらを共有することで達成できる技術の伝承について、学問的な技術論ではない、技術のための技術ではない、潤沢な資金のもとでしか達成できないものではない、技術員や製造員が即実践できる、現場のための技術論、設計・設定思考、生産技術向上の考え方を解説させていただきます。

セミナーでの習得ポイント

- ・新人技術員、製造員の基礎理論・基礎要素の習得。
- ・中堅技術員、製造員の基礎理論の整理と再考、見直し促進。
- ・方案設計と鋳造条件設定手順の整理と思考。
- ・パラメータとその関連性の再確認と思考。
- ・生産技術、現場管理程度の向上による不具合抑制の理屈や仕組み、思考。
- ・生産技術の活用法。

講師

株式会社ジェイライズ 代表取締役 神保 誠氏

【略歴】 1981年 株式会社神保製作所入社。ダイカスト部門に配属され、設備選定・工程設計・金型方案設計・製造・品質管理・生産管理などダイカストに関わる全ての工程の実行、管理を行う。また、自動化を推進し、ハイシリコン材・PF法・真空法・スクイズ法などを導入。2002年 代表取締役就任し、経営再建着手。能率管理・部門別原価管理手法導入等により、3年で経営再建を実現する。2008年6月 代表取締役を退任し独立。株式会社ジェイライズを設立し、コンサルティング業務開始。ダイカスト関連（自動車工場など）から切削加工や鋳鉄、化学品製造など様々な分野の技術支援・経営コンサルティングを行う。

プログラム

1. 技術理論の整理と再考

- (1) ダイカストマシン
- (2) 周辺装置
- (3) 監視・管理機器
- (4) 金型
- (5) 方案（鋳造方案）
- (6) 溶湯
- (7) 低速射出（プランジャー速度）
- (8) 高速開始位置（高速区間距離）
- (9) 高速射出（プランジャー速度）と減速
- (10) 鋳造圧力
- (11) 離型剤
- (12) プランジャー潤滑
- (13) その他

2. 方案設計と鋳造条件

- (1) 使用設備と工法の選択
- (2) 方案設計の手法と手順
- (3) 鋳造条件設定の手法と手順
- (4) 方案設計と鋳造条件の関係

3. 不具合の抑制

- (1) 現場の見直し
- (2) 不良品増減の理由
- (3) 現場の観察
- (4) 現場の状態を整える

4. 不具合の原因と対策

- (1) パラメータ
- (2) 不具合の種類
- (3) 不具合発生原因と対策
- (4) 不具合形態の判断

5. 特殊工法

- (1) 特殊工法とその特徴
- (2) ダウンサイジング事例とその思考

6. まとめ

～全体最適で良い企業文化の醸成～